

# 日本子ども社会学会 第29回大会 プログラム

## 1. 期日

2023年6月3日(土)・4日(日)

## 2. 会場

J:COM ホルトホール大分 (大分県大分市金池南1丁目5-1)  
(6月3日・4日の両日とも対面開催)

## 3. 日程

### 【前日 6月2日(金)】

17時00分～ 19時00分 理事会 (4階 410会議室)

### 【1日目 6月3日(土)】

9時30分～ 受付 (3階 303会議室)  
10時30分～ 12時10分 研究発表Ⅰ (4階 各会議室)  
12時20分～ 13時10分 総会 (3階 大会議室) (学会賞授賞式を含む)  
13時10分～ 14時00分 昼食  
13時10分～ 14時00分 新理事会 (4階 410会議室)  
14時00分～ 15時30分 大会実行委員会企画 (3階 大会議室)  
15時40分～ 17時45分 研究発表Ⅱ (4階 各会議室)

### 【2日目 6月4日(日)】

9時00分～ 受付 (3階 303会議室)  
9時30分～ 12時00分 研究発表Ⅲ (4階 各会議室)  
12時00分～ 13時30分 昼食  
12時00分～ 13時30分 新評議会 (4階 406会議室)  
新各種委員会 (4階 410会議室)  
13時30分～ 15時30分 テーマセッション (4階 409会議室)  
15時40分～ 17時40分 ラウンドテーブル (4階 各会議室)

## 4. 大会参加申し込み（事前申し込み）・大会参加費

### （1）大会参加申し込み（事前申し込み）

学会ホームページ(<https://www.js-cs.jp/annualmeeting2023/>)で、事前に参加申し込みをして下さるようお願いします。

準備の都合上、参加申し込み期間は、2月1日（水）～5月25日（木）といたします。非会員の方も学会ホームページから臨時（当日）会員としての参加申し込みができます。

### （2）大会参加費

事前申し込みを行った上で、大会当日、会場にて大会参加費をお支払い下さい。

一般会員	: 4,000 円	一般会員（年収 300 万円以下）	: 2,000 円
臨時（当日）会員	: 4,000 円	臨時（当日）会員（年収 300 万円以下）	: 2,000 円

## 5. 懇親会

懇親会は開催いたしません。

## 6. 発表時間

個人発表：発表 20 分・質疑応答 5 分

共同発表：発表 40 分・質疑応答 10 分

（ただし、発表者が 1 名の場合は、個人研究に準じます。）

## 7. 発表取り消し

発表の取り消し、および発表日時の変更は原則として認めていません。

発表の取り消しの場合は、早急にお知らせください。

## 8. 当日配布資料

レジュメ等の発表資料を配布される場合は、30 部以上ご用意ください。

大会会場でのコピーはできません。

## 9. 発表に際しての注意

発表の際、プロジェクターは各室に備え付けてあります。

パソコンについては、ご自身のものをご準備ください。

## 10. クローク

第29回大会はクロークを設けません。

## 11. 会員控室

【1日目 6月3日(土)】

総会ならびに大会実行委員会企画を行う3階 大会議室を会員控え室といたします。  
抜刷・資料交換コーナーもこちらに設けます。

【2日目 6月4日(日)】

4階 403会議室を会員控え室といたします。  
抜刷・資料交換コーナーもこちらに設けます。

## 12. 書籍販売

第29回大会は会場にて書籍販売を行いません。

## 13. 昼食

会場近くの JR 大分駅周辺には飲食店が多数ありますので、そちらをご利用ください。

## 14. 大会本部

3階 302会議室に設けています。

## 15. 大会実行委員会連絡先

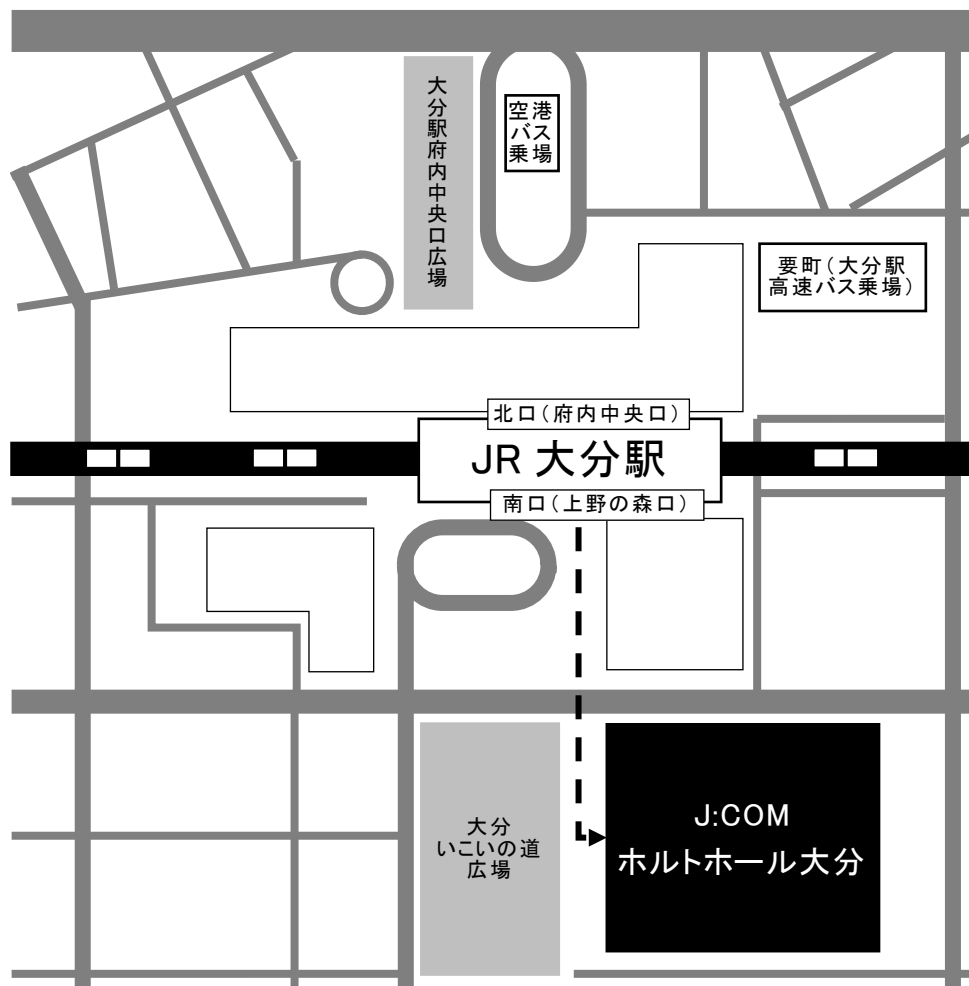
日本子ども社会学会第29回大会実行委員会  
E-mail : [kosha29oita@gmail.com](mailto:kosha29oita@gmail.com)

大会当日(6月3日, 4日) 緊急電話連絡先  
080-2384-6728

## J:COM ホルトホール大分へのアクセス

### 【最寄駅(大分駅)からのアクセス】

- ・JR「大分駅」下車 南口(上野の森口)から徒歩 2 分



### 【最寄駅(大分駅)へのアクセス】

#### ・鉄道(JR)

- 小倉駅 → 大分駅 約 1 時間 30 分(日豊本線)
- 博多駅 → 大分駅 約 2 時間(日豊本線)

#### ・飛行機

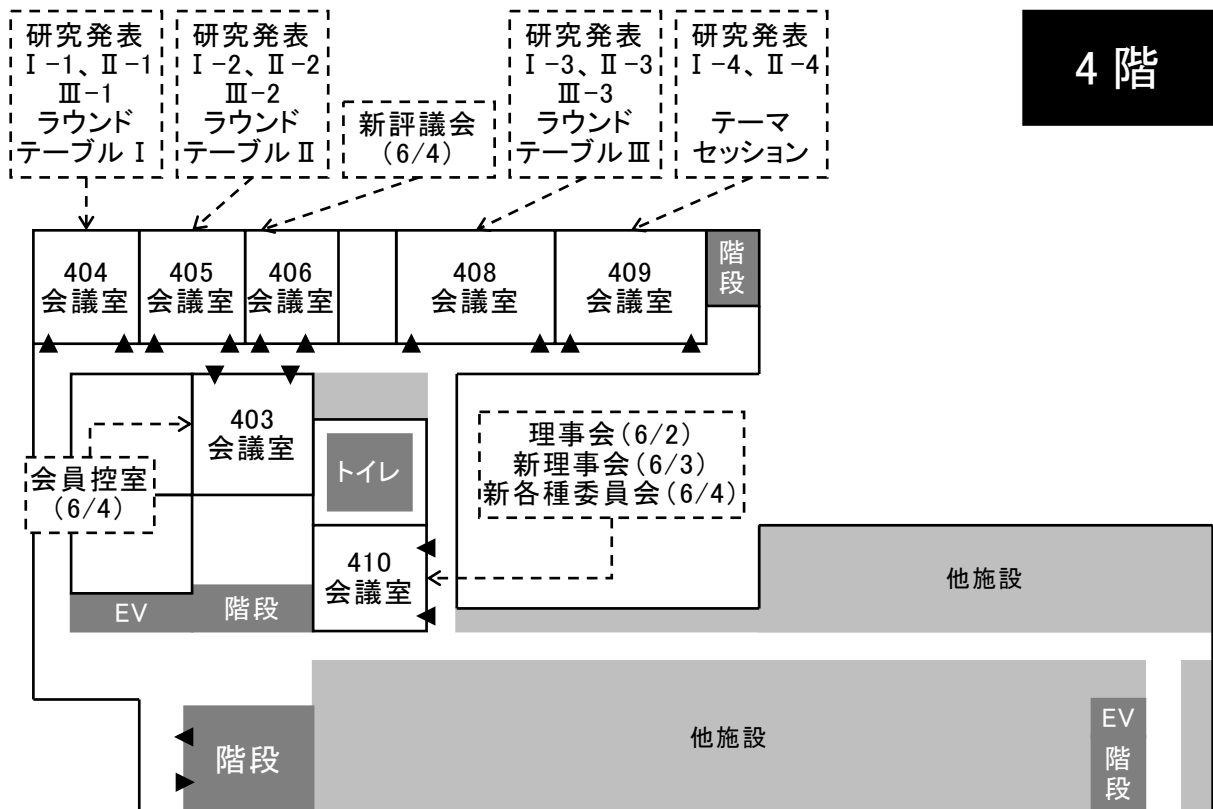
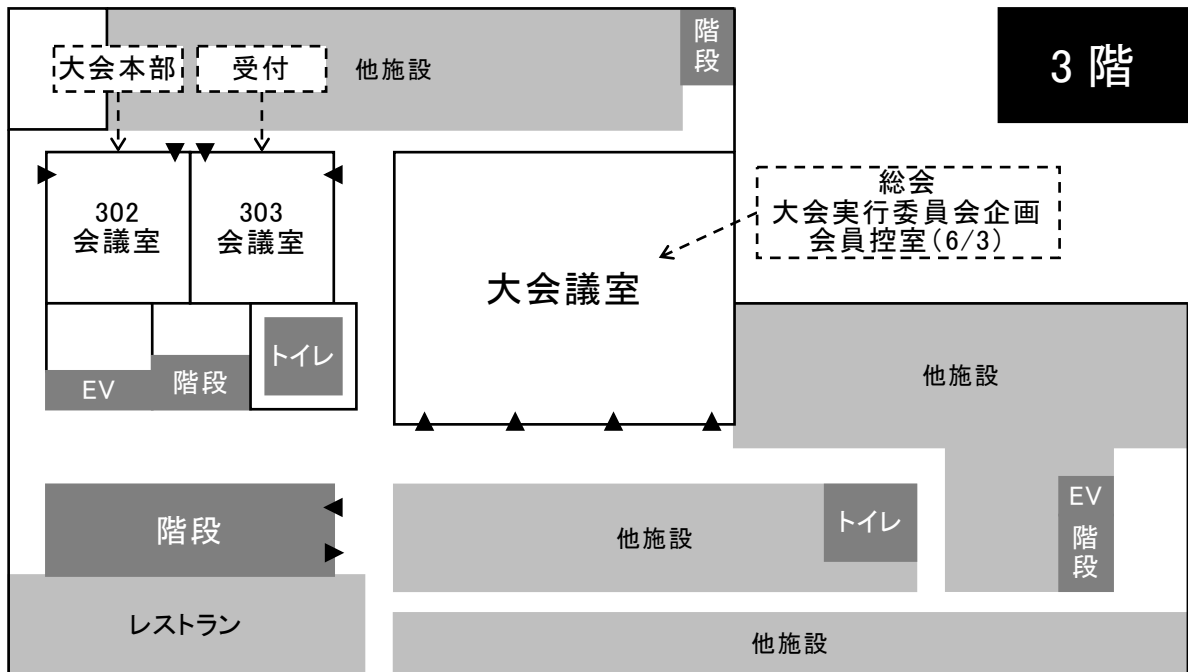
- 大分空港 → 大分駅前(北口(府内中央口)) 約 1 時間(大分交通エアライナー)

#### ・高速バス

- 西鉄天神高速バスターミナル → 要町(大分駅高速バス乗場) 約 2 時間(大分交通、大分バス、西日本鉄道)

# 会場マップ

※大会会場はJ:COM ホルトホール大分の3階及び4階です。



研究発表 I

2023年6月3日(土) 10時30分～12時10分  
4階 404会議室

I-1 【 子どもの遊び集団と環境 I 】

司会 矢島 毅昌 (島根県立大学)

10時30分～10時55分

乳幼児期における木製玩具とプラスチック製玩具を用いた遊びの特徴と教育効果

高橋多美子 (岡山県立大学)

10時55分～11時20分

現代日本の保育学における保育方法としての遊びの特質

○安部 高太朗 (郡山女子大学短期大学部)  
吉田 直哉 (大阪公立大学)

11時20分～11時45分

幼児期の仲間関係の感情表現に関する研究  
～幼稚園3歳児後期の遊びから～

高橋 公子 (奥州市立佐倉河幼稚園)

11時45分～12時10分

総括討論

研究発表 I

2023年6月3日(土) 10時30分～12時10分  
4階 405会議室

I-2 【 乳幼児の保護者 】

司会 山瀬 範子 (國學院大學)

10時30分～10時55分

幼児期における保護者の性教育に対する意識と実態調査

増野 章子 (日本保健医療大学)

10時55分～11時20分

幼児のデジタルメディア利用の影響に対する保護者の意識に関する調査研究

湯地 宏樹 (鳴門教育大学)

11時20分～11時45分

保育士に対する保護者期待

田中 理絵 (西南学院大学)

11時45分～12時10分

総括討論

研究発表 I

2023年6月3日(土) 10時30分～12時10分  
4階 408会議室

I-3 【 子どもの福祉と家族 】

司会 坪井 瞳 (東京成徳大学)

10時30分～10時55分

児童養護施設入所児の不登校経験

西林 佳人 (関西大学大学院)

10時55分～11時20分

児童養護施設における進路支援の形成過程

山口 季音 (至誠館大学)

11時20分～11時45分

二つの「親子」について考える  
～ルーマニア社会にみる里親、養子縁組、擬制的親族～

浅田 直規 (筑波大学大学院)

11時45分～12時10分

総括討論



研究発表 I

2023年6月3日(土) 10時30分～12時10分  
4階 409会議室

I-4 【 中学生・高校生の生活と文化 I 】

司会 伊藤 秀樹 (東京学芸大学)

10時30分～10時55分

学校外の「居場所」型施設を訪れる子どもの生活経験  
—学校・家族に関する語りに着目して—

水野 聖良 (大阪大学大学院)

10時55分～11時20分

学校における同輩集団との相互行為の役割  
—がん経験者の事例から—

笠井 敬太 (日本学術振興会)

11時20分～11時45分

中等教育を受けて働き始める若者  
—インドの都市スラムに暮らす10代を題材として—

茶谷 智之 (兵庫教育大学)

11時45分～12時10分

総括討論

オフラインによる子ども社会研究のダイアログ  
～日本子ども社会学会におけるポスター発表の試み～

【 趣旨 】

2020年以降、オンラインツールによる研究交流が盛んになる一方、多くの会員の方よりオフライン（対面）による研究交流を行いたいという声を聞く機会が増えた。こうした状況を踏まえ、対面開催を行う第29回大会では、懇親会は行わない代わりに、オフライン（対面）だからこそ実現できる研究交流の機会を設けたいと考えるに至った。

そこで「オフラインによる子ども社会研究のダイアログ」というテーマのもと、これまで日本子ども社会学会では行われてこなかった「ポスター発表」を実施することを企画した。ポスター発表は通常の研究発表以上に、発表者と聞き手の間でオフラインによるコミュニケーションが可能となる。また一つのフロアで様々な研究発表と出会うことができることも、学際性の高い日本子ども社会学会にとって意義ある試みであろう。とりわけ懇親会を中心に行われてきた個々の会員による対面による研究交流の代替にもなり得ると期待できる。

今回は、大会実行委員会より、日本子ども社会学会ならびに他学会で精力的に研究活動に取り組まれている若手研究者の方々にポスター発表の依頼をした。日本子ども社会学会では多様な分野から研究が進められている。「日本子ども社会学会」設立の目的をみると、研究分野として10の分野があげられている。今回のポスター発表はこれら10分野のすべてが含まれているわけではないのだが、若手研究者が精力的に行っているこれからの子ども社会研究の萌芽と可能性を知る機会になるものと期待される。

若手研究者に限定せず、さまざまな世代の研究者が1つのフロアに集っていただきたい。そして今回の大会実行委員会企画におけるポスター発表を通じて、対面だからこそ可能となる多様な研究に関する情報交換や交流を行っていただきたい。

【 ポスター発表 】

- 大久保 心（日本学術振興会特別研究員・東京大学）  
再生産的／非再生産的な子どもの生活時間
- 香川 七海（日本大学）  
教育実践・教科教育の〈現代史〉的研究  
—科学史学者・板倉聖宣と仮説実験授業を事例に—
- 粕谷 圭佑（奈良教育大学）  
学校行事の予示的／回顧的言及  
—学級の歴史を構成する日常的ワーク—
- 加藤 一晃（名古屋芸術大学）  
小学生のスポーツ経験の普及過程  
—顕在化する「競技者」としての子ども像—
- 上地 香杜（静岡大学）  
地方普通科高校におけるローカルな教育  
—「学校要覧」の記載事項に着目して—
- 佐々木龍平（別府大学）  
教師が語る不登校問題  
—認識の変化に着目して—
- 藤川 寛之（名古屋大学大学院）  
デジタルメディアを持つ「子ども」  
—「1人1台」の授業実践をめぐる教師の語りに着目して—
- 古殿 真大（名古屋大学大学院）  
1950年代の普通学級における精神衛生的処置  
—「性格異常児」と高木四郎の構想—
- 松原 未季（日本学術振興会特別研究員・東京大学）  
幼稚園4、5歳児クラスにおけるクラス替えによる環境移行に対する認識・対処の変化とそれに対する保育者の援助  
—5クラスのクラス替えが行われる園での縦断的調査から—

## 研究発表Ⅱ

2023年6月3日（土）15時40分～17時45分  
4階 404会議室

### Ⅱ－1 【 乳幼児の生活と指導 】

司会 請川 滋大（日本女子大学）

15時40分～16時05分

保育士が乳児に「寄り添う」とはどういうことか？  
～入園時に泣きじゃくる生後10ヶ月の女兒に着目して～

○水野佳津子（佼成育子園）  
中坪 史典（広島大学）

16時05分～16時30分

降園の時間帯における保育者の子どもへのかかわりに関する研究  
—延長保育に関するインタビューから—

渡邊 真帆（福山市立大学）

16時30分～16時55分

なぜ日本の保育者はクラスのすべての子どもが当番活動を担うことに肯定的なのか？

○加藤 望（名古屋学芸大学）  
肥田 武（一宮研伸大学）  
中坪 史典（広島大学）

16時55分～17時20分

堀合文子はどのように4歳児の保育をしてきたのか  
李 睿苗（広島大学大学院）

17時20分～17時45分

総括討論

## 研究発表Ⅱ

2023年6月3日（土）15時40分～17時45分  
4階 405会議室

### Ⅱ－2 【 保育者 】

司会 石黒 万里子（東京成徳大学）

15時40分～16時05分

保育者養成における領域「人間関係」と発達心理学の相互性

門倉 洋輔（玉成保育専門学校）

16時05分～16時30分

保育者の職の継続（Ⅶ）

—男性保育者の葛藤とその克服に着目して—

中井 雅子（元十文字学園女子大学）

16時30分～16時55分

保育現場から大学院に進学した保育者は大学院の経験をどのように意味づけているのか

○濱名 潔（認定こども園 武庫愛の園幼稚園）

本岡美保子（比治山大学）

16時55分～17時20分

保育者としての経験から研究を行うには

—自己の経験にもとづく保育研究の方法論的検討—

本岡美保子（比治山大学）

17時20分～17時45分

総括討論

## 研究発表Ⅱ

2023年6月3日（土）15時40分～17時45分  
4階 408会議室

### Ⅱ－3 【 中学生・高校生の生活と文化Ⅱ 】

司会 内田 康弘（愛知学院大学）

15時40分～16時05分

学力下位県における中高生の進路選択  
—岩手県を事例に—

渡部 芳栄（岩手県立大学）

16時05分～16時30分

進学校出身者の語りにみる「学ぶこと」のありよう

青木 結（筑波大学大学院）

16時30分～16時55分

入学者選抜と中学・高校時代の学びの関連  
—JLSCP（パネル調査）データを用いた分析—

木村 治生（ベネッセ教育総合研究所）

16時55分～17時45分

総括討論

## 研究発表Ⅱ

2023年6月3日（土）15時40分～17時20分  
4階 409会議室

### Ⅱ-4 【 子ども文化 】

司会 中田 周作（中国学園大学）

15時40分～16時05分

日本における「子どものコスモロジー」の問題構制

吉田 直哉（大阪公立大学）

16時05分～16時30分

子どもの読書推進に関する一考察

小田 孝子（行橋市図書館）

16時30分～16時55分

少年・少女雑誌と関東大震災  
一誌面を通じての読者の絆・連帯感を中心に一

田中 卓也（育英大学）

16時55分～17時45分

総括討論

## 研究発表Ⅲ

2023年6月4日（日）9時30分～12時00分

4階 404会議室

### Ⅲ－1 【 子どもの遊び集団と環境Ⅱ 】

司会 保木井 啓史（福島大学）

9時30分～9時55分

仲間入り方略に着目した同性集団の様相

—保育園3歳児クラスのビジュアル・エスノグラフィー調査—

天野 諭 （立命館大学大学院）

9時55分～10時20分

ドキュメンテーションを介した語り合いによる保育理解の深まり

富山 大士（こども教育宝仙大学）

10時20分～10時45分

被災地における学童保育所の機能復旧と再開プロセスの記録化（2）

—「一時的な保育機能の復旧」にかかわる支援者へのヒアリング調査をもとに—

鈴木 瞬 （金沢大学）

10時45分～12時00分

総括討論



## 研究発表Ⅲ

2023年6月4日（日）9時30分～12時00分  
4階 405会議室

### Ⅲ-2 【 子どもの社会史 】

司会 土屋 敦（関西大学）

9時30分～9時55分

大正期における児童保護委員制度の成立  
—救済事業調査会と東京府児童保護委員の活動を中心に—

高橋 靖幸（新潟県立大学）

9時55分～10時20分

1930年代の大阪における栄養食堂  
—母子を対象とする社会事業の一環として—

和田真由美（姫路大学）

10時20分～10時45分

1960年前後の教育運動における「マス・コミ」文化をめぐる議論の展開過程  
—日教組教研「青少年文化」分科会の発足に焦点を当てて—

渡邊 真之（法政大学ほか）

10時45分～12時00分

総括討論

## 研究発表Ⅲ

2023年6月4日（日）9時30分～12時00分

4階 408会議室

### Ⅲ-3 【 子どもと学校 】

司会 梅田 崇広（愛媛大学）

9時30分～9時55分

外遊びの機会と道徳性の発達に関する一考察

松下 恭平（名古屋市立二城小学校）

9時55分～10時20分

学級経営研究に取り組んだ学卒院生のオートエスノグラフィー  
—特別活動への参画を通じて学級の一員となっていく私—

宮重 拓歩（大分大学大学院）

10時20分～10時45分

沖縄における外国につながる子どもの支援に関する研究

嘉納 英明（名桜大学）

10時45分～11時10分

散在地域の学校における外国につながる子どもの教育支援

吉田 美穂（弘前大学）

11時10分～12時00分

総括討論

## 子どもを取り巻く社会環境（資源）の開発

### 【話題提供】

境 愛一郎（共立女子大学）

地域に暮らし地域を受け継ぐ保育実践

—沖縄のシーサー、群馬の商店街に見る共生のかたち—

田中 謙（日本大学）

社会環境（資源）の開発の視座

富田 純喜（高崎健康福祉大学）

保育実践における子ども・保育者と社会環境（資源）の関係をどう創出するか

### 【指定討論者】

請川 滋大（日本女子大学）

### 【司会】

久保田真功（関西学院大学）

### 【企画趣旨】

現在日本社会では、少子化対策に留まらず、一人ひとりの子どもの Well-being を高め、社会の持続的発展につながる子ども政策への関心が高まっている。この子ども政策では、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れた政策の実現が必要であるとされており、例えば家庭、学校、職域、地域等が一体的に取り組み、子どもたちが「様々な学びや体験」ができる環境整備の実現が求められている。このような環境の整備に際しては、社会における既存の環境の活用のみならず、新たな環境（資源）の開発にも積極的に取り組み、「様々な学びや体験」が可能となるように取組を進めていくことが不可欠になると考える。さらに、このような新たな環境（資源）の開発は、今日学校園に求められる社会に開かれた教育課程の実現等、学校教育や社会福祉施設での実践の質の向上にもつながるものである。

しかしながら、地域における環境、特に学校園を取り巻く社会環境は各々異なり、そのあり方や、学校園からの開発に向けた地域への働きかけも異なることが予測される。そこで本テーマセッションでは、国の教育、福祉を中心とする子どもに係る政策動向を踏まえつつ、特に幼児教育・保育を中心に、保育者の視点から社会環境（資源）開発の現状について報告を行う。その上で報告から得られた視座を基に、社会環境（資源）の開発に関する今後の学術的・実践的課題について議論する。

その際には、多様な視座から研究を進める子ども社会研究に携わる会員等からも積極的な意見を求めたい。なぜなら、この議論は幼児教育・保育のみならず、生活科を介した幼小接続や、小学校、中学校、高等学校、大学等における地域学習にも関連すると考えられるためである。このような議論を通じて、子ども社会研究における社会環境（資源）開発に係る研究の可能性を、多角的な視座から会員とともに探ることを目的とする。

（担当委員：久保田真功・請川 滋大）

## ラウンドテーブル I

2023年6月4日(日) 15時40分～17時40分

4階 404会議室

### テーマ

幼児からの性教育冊子『かけがえのない、いのち』作成と展開

#### 1) コーディネーター

山田 富秋 (松山大学)

#### 2) 司会者

臼杵百合子 (日本保健医療大学)

#### 3) 討論者

成澤多美子 (心の教育・性教育・人間教育を考える会)

高橋 静子 (心の教育・性教育・人間教育を考える会)

宮崎 悦子 (医療法人同仁会 同仁病院)

小塚 史穂 (市立町田中学校)

森田 真弓 (市立旭川小学校)

### 内容

幼児からの性教育冊子『かけがえのない、いのち』の執筆者、教育現場で冊子を活用している討論者たちから、冊子作成までの軌跡と教育現場での反響を語ってもらい、幼児からの性教育の今後の展開を考える。

## ラウンドテーブルⅡ

2023年6月4日（日）15時40分～17時40分

4階 405会議室

### テーマ

#### 子どもの権利を保障する保育を考える

##### 1) コーディネーター

天野 諭 （立命館大学大学院人間科学研究科博士課程後期）

加藤 望 （名古屋学芸大学ヒューマンケア学部）

##### 2) 司会者

加藤 望 （名古屋学芸大学ヒューマンケア学部）

##### 3) 提案者

田島 美帆 （広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター）

天野 諭 （立命館大学大学院人間科学研究科博士課程後期）

栗栖 宏明 （山鹿市立富慈園）

##### 4) 討論者

山縣 文治 （関西大学）

### 内容

2022年は子どもや子育てについて、社会的注目が集まる1年であった。2023年4月の「こども家庭庁」設置に向けて、「こども基本法」が可決・成立し、全ての子どもが差別されないこと、適切に養育されること、意見が尊重され最善の利益が優先されることが明文化された。これにより1994年の「子どもの権利条約」の批准から、ようやく日本も「子どもの権利」について明確な方針が整ったといえる。しかし一方では、通園バス車内放置による幼児の熱中症死亡や、児童虐待に値する不適切な保育が明るみになり、子どもや子育てをめぐる日本の悲慘な現状があらわとなった。

もちろん保育者は、養成段階で子どもの主体としての思いや願いを受け止めることを学び、子ども一人ひとりの主体性を尊重することが日本の保育の理念であることを理解する。しかし、こうした事故や事件からは、理念が空洞化している可能性が示唆される。

そこで本ラウンドテーブルでは、保育の現場で「子どもの権利」を保障する上で、どのような課題が潜んでいるのか、またどう解決に導けるのかを検討したい。保育実践者の立場からは、適切な保育とは言えないのではないかと、もやもやする保育の事例を紹介する。これに対し、幼児教育アドバイザーを派遣する行政の立場からは、どのように保育の現場へアプローチが可能かを考察する。また、研究の知見から、適切ではない保育を無意識的に行う保育者に対し、それを意識化することはどのような手段で可能なのかを検討する。

多様な視点から子どもの権利を守ることについて考え、理論と実践を佳境する場とした。

## ラウンドテーブルⅢ

2023年6月4日（日）15時40分～17時40分  
4階 408会議室

### テーマ

#### 地方から子ども文化を考える

##### 1) 企画、司会、コーディネータ

田中 卓也（育英大学）

##### 2) 話題提供

田中 卓也（育英大学）

和田真由美（姫路大学）

川村 高弘（神戸女子短期大学）

西田 明史（中村学園大学）

小川 知晶（川崎医療福祉大学）

植田恵理子（高野山大学）

丸山ちはや（盛岡大学短期大学部）

##### 3) 指定討論

川村 高弘（神戸女子短期大学）

### 内容

本ラウンドテーブルは、令和期を迎え、子ども文化がいかに形成されていくのかについて、地方からの視点を持ちながら、7名の研究者の専門性を活かしながら話題提供を行うものである。子ども文化について変わるもの、変わらないものは何かをはじめ、子ども文化と身体表現、運動あそびと子ども文化、外国籍家庭の子どもとその子ども文化との関わり、劇と子ども文化、音楽表現と子ども文化、文化伝承と子どもなどのさまざまな視点から考える。

会場の大分にちなみ九州地方の子ども文化についても検討できればと考えている。多くの参加者と忌憚のない意見交換を踏まえたラウンドテーブルにしたい。

## 日本子ども社会学会 第29回大会実行委員会

実行委員 上地 香杜（静岡大学）  
熊丸真太郎（大分大学）  
境 愛一郎（共立女子大学）  
長谷川祐介（大分大学） ○委員長  
藤村 晃成（大分大学） ○副委員長  
宮重 拓歩（大分大学大学院）

日本子ども社会学会 第29回大会 プログラム

発行日 2023年4月11日

編集・発行 日本子ども社会学会第29回大会実行委員会

〒870-1192 大分県大分市旦野原700 大分大学教育学部 長谷川祐介研究室